

■研究プロジェクト名	
「キャリアウエイ～理系女子学生のキャリア教育と活躍促進のための環境整備に関する研究」	
【研究の特色・ポイント】	
<p>●本研究は、日本大学における次世代の女性理系人材育成整備であり、理系学部を中心として、入り口から出口まで、女子中高生理系選択支援、女子学生のキャリア教育、女子学生の就職力開発、卒業後のキャリア継続と再教育、女子大学院生・若手女性教職員の活躍促進のためのキャリアアップ支援と環境整備等を推進する実践的研究である。</p> <p>●本研究では次世代育成キャリアウエイ整備のために、日本大学の理工系9学部、短期大学部3学部、附属高等学校・中学校が参加し、教職員、校友会が連携して全学連携推進体制で行われた。</p>	
【研究の背景】	
<p>資源の少ない日本が世界経済をリードしていくためには、科学技術の開発と人材の有効活用が大切である。特に技術革新の創出には、女性の活用が重要であると言われている。しかし、日本はまだ女性の活用が不十分であり、研究者の女性割合を見ても13%程度と先進国中最低の比率である。人材を育成し社会に貢献する大学、特に大規模私立総合大学で理系学部の多い日本大学は、今後さらに理系女子学生を増やしてキャリア教育を行い、科学者・技術者等の職業人を世に送り出していく責務がある。さらに女性が社会に出てからも、継続して活躍できるようにライフプランニングや再教育・産後復帰支援を含めた環境整備が重要である。</p>	
【研究成果の概要】	
研究期間	平成 24 ～ 25 年度
研究費総交付額	32,414,000 円
<p>1. 附属女子高等学校・中学校生に対する理系選択支援 女子中高生における将来の職業選択は早い時期からの準備が大切である。このための支援活動として、本大学教員がロールモデルを紹介する授業を行った。また理工系学部での体験学習、学部ツアーなどの理系選択支援企画を行い、生徒の選択意欲を高めた。その成果として理工学部では平成26年度の女子学生入学者数が24年度に比べて増加している。</p> <p>2. 理系女子学生・女子大学院生への支援と大学の環境整備 ① 在学中から女子学生、大学院生のサイエンススキルアップを図るため、英文論文の書き方、統計解析、研究費の獲得方法などについてのセミナー、講演会の実施を行った。 ② キャリア教育は女子学生に必要なライフプランニング、専門職に必要な職業継続や再教育、産後復帰に対する意識を高めるために重要である。このため在学中からキャリア教育を行い、特にキャリアアップ支援のために、ロールモデルを紹介する講演会を開催した。またロールモデル紹介冊子を発行して、各学部の女子学生や新入学生に配布した。生物資源科学部では平成27年度の女性理系教員が平成24年度に比べて増加している。 ③ 今回のプロジェクト実施中に新たに男女共同参画推進委員会が発足した学部では、ここで諸問題を把握し、解決に結びつくように支援した。</p> <p>3. 理系女子学生の就職力の開発 ① 校友会や企業団体と連携して女子学生の就職力アップを図るため、企業女性技術者によるセミナー、懇談会、就職が決まった学生によるキャリアカフェなどを開催することにより、将来の職業イメージを入学後の早い段階から形成する環境を整備した。特に女子学生が少ない理工系学部では、出口が見えるようにすることは学生生活の目標設定のために重要であった。</p> <p>4. 研究組織の幹部を対象とした意識啓発活動 ① 人材育成、リーダー育成に関するシンポジウムの開催 日本の中枢で活躍しておられる国会議員、野田聖子衆議院議員、橋本聖子参議院議員をお招きして、リーダーの育て方、人材育成の方策などについてのシンポジウムを開催し、日本大学における研究組織の幹部に対する意識の啓発に寄与した。 ② 国際連携によるリーダー教育の推進 平成25年度には、グローバルに活躍する理系女性を育成するために、リーダー教育をメインテーマとした「第5回日中韓女性科学技術指導者フォーラム」を日本大学会館大講堂で開催した。日中韓において女性研究者の抱える問題には国を超えて多くの共通点があり、これらを解決する上で、日中韓が協調して活動していく重要性を認識したシンポジウムとなった。</p>	
【研究成果の意義・効果】	
<p>本研究は、日本大学の特質を生かした「キャリアウエイプロジェクト」の横断的研究で、これが効率的に進められ、日本大学の男女共同参画がさらに整備された。また女子学生の増加、女性教員の増加など本学の教育、研究活動、運営に対して直接的、間接的に寄与した。本プロジェクトによって培われ、整備された研究体制は、学部を超えた教職員、校友会の連携モデルである。この体制は、今後本学が一体となって取り組む教育研究・運営に活用されるべき良い前例となる。</p>	